2020 年 8 月 17 日

会社名 株式会社メタップス
（コード 6172:マザーズ）

住　所　東京都港区三田１丁目４番１号
住友不動産麻布十番ビル３F

代表者　代表取締役 山﨑 祐一郎
問合せ先　企画本部長 尹喜重
電話番号　TEL 03-6459-4670

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたのでお知らせ致します。

記

〈開催状況〉

開催日時　2020 年 8月 17 日(月)　15 時30 分～16 時10分

開催方法　WEB形式によるオンライン開催

【添付資料】

1.2020年12月期第２四半期決算説明会資料

2020年12月期第２四半期

決算説明資料

株式会社メタップス（TSE:6172）

はじめに

- ３月以降、新型コロナウイルスの影響が顕在化し、特にファイナンス事業において、これまで決済流通を牽引して来た**旅行、ホテル、ウエディング、イベント関連の加盟店が大きな打撃を被り、**第２四半期が最も大きな影響を受けたものの、**５月で影響は底を打ち、緩やかな回復基調にある。**一方で、海外事業は４月以降逸早く回復し、またマーケティング事業においては、インターネット関連サービスの利用が増加したことで、ECを中心に広告出稿需要が拡大、想定を上回る着地

- 前事業年度末に、**事業ポートフォリオの見直しを発表**したことを踏まえ、１Qでの暗号通貨事業の撤退完了に続き、メタップスリンクスの本社吸収合併、中華圏プラットフォーム事業における提携先との契約早期終了等、**事業整理が進展**

- With/Postコロナ時代を見据え、今後目指していく方向性を示し、グループを次のステージへと押し上げていくために、**中期経営計画「The Road To 2025 」**を策定。グループとしての重点投資領域と成長戦略を明確にし、中長期での安定成長と経営の効率化を図る

© 2020 Metaps Inc.

■新型コロナウイルス感染症による影響と対策について

© 2020 Metaps Inc.

新型コロナウイルス感染症に対する当社の対策

1．感染予防対策について

- ✓ メタップスグループ主催の対面イベント・セミナーは行わない（Zoom等を活用したオンラインイベントは積極的に開催）
- ✓ 不要不急の取引先への訪問、取引先の来社を原則禁止
- ✓ Withコロナガイドラインに沿った安全なオフィス環境
- ✓ 感染マニュアルを制定、万一に備えた運用体制
- ✓ 全従業員の健康管理、健康観察の徹底

2．勤務体制について

- ✓ 在宅勤務を継続しながら、チームごとに週２日程度の出勤
- ✓ フレックスタイム制を活用した時差通勤を推奨

3．事業運営について

- ✓ With/Postコロナ時代を見据え、経営理念の刷新と、新たな経営方針を盛り込んだ中期経営計画**「The Road To 2025」～自律分散社会に向けて～**を策定（本日開示）

© 2020 Metaps Inc.

新型コロナウイルス感染症による業績への影響（見込み）

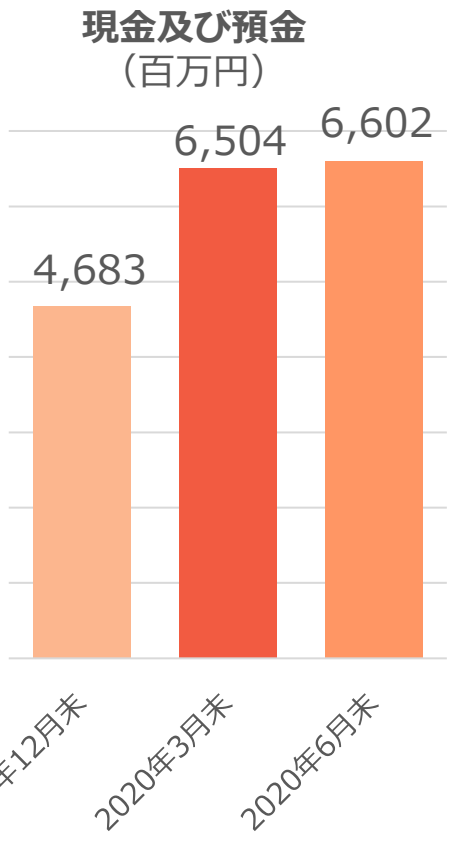
	２Qの影響		３Qの見通し/今後の施策	
ファイナンス関連事業	✓ **国内：**特に４月、５月においてホテル及び旅行決済、イベント決済等オフライン決済全般において、一時的に大きく減少	↘	✓ **国内：**５月が実質的な底と見られ、６月以降は回復傾向。Zoom等を活用したオンラインイベント受注が好調 →商談のオンライン化促進継続、CRIAの大型加盟店稼働、会費ペイのV字回復	→
	✓ **海外：**対面接客関連の広告主からの需要減及び企業プロモーション需要減による影響あり、売上はやや減少	→	✓ **海外：**コロナ感染症による影響は限定的となっており、企業のプロモーション需要も回復基調に →B2B営業強化、新規サービスのローンチによるキャッシュポイントの創出	→
マーケティング関連事業	✓ **国内：**外出自粛等によるインターネットサービスのトラフィック増により、EC顧客中心に需要増	↗	✓ **国内：**再びコロナ感染症が拡大する中、インターネット関連サービスのトラフィックは現状水準で推移する見込み →広告予算増加顧客へリソース集中	→
	✓ **海外：**中華圏は４月はやや影響はあったものの、ゲーム関連のパブリッシング需要は急速に回復し、計画以上の収益を達成	↗	✓ **海外：**事業環境は引き続き回復基調だが、オフライン広告は以前より需要減 →重要顧客へリソースを集中しながらも継続的にコスト抑制・削減	→

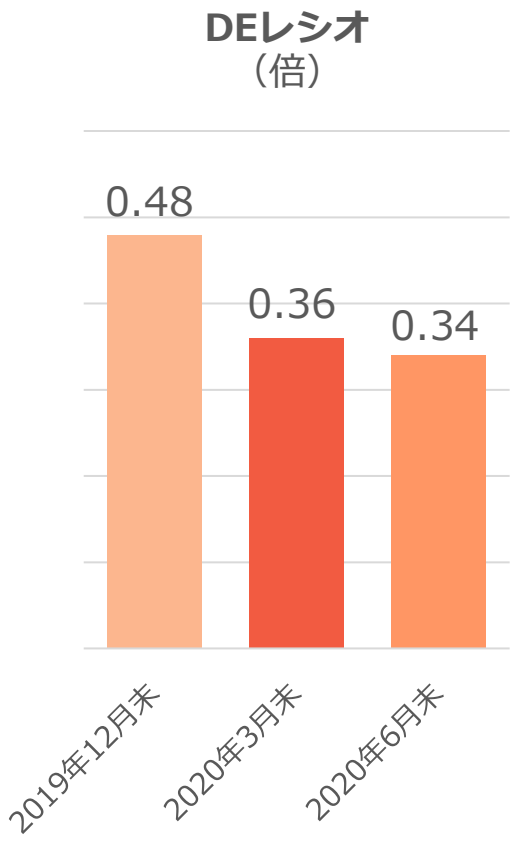
営業利益： ↗ **計画上振れ** → **計画通り** ↘ **計画下振れ**

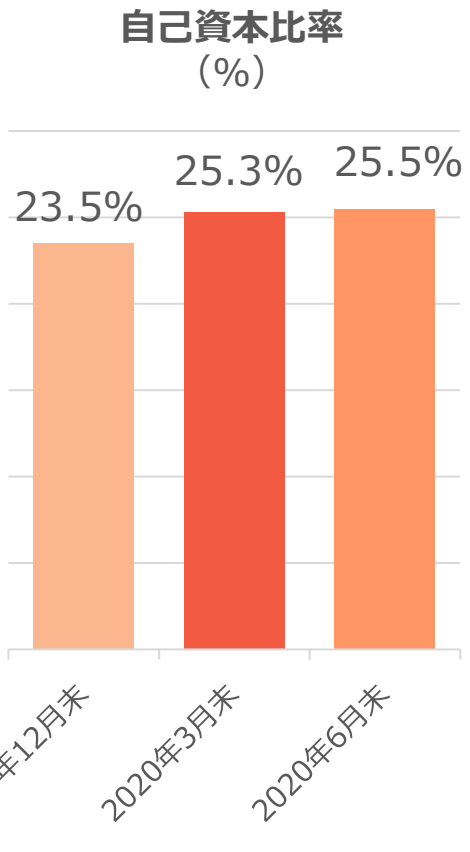
© 2020 Metaps Inc.

財務基盤の強化

財務指標は、セブン銀行と資本提携を行った１Ｑと比べ更に改善。事業の選択と集中に伴うコストの最適化を進めており、コロナ禍を乗り切るための安定的な財務基盤を維持







© 2020 Metaps Inc.

■上期決算（2020年１月～６月）

© 2020 Metaps Inc.

業績サマリー

コロナ感染拡大の影響により、コア事業である国内ファイナンス事業において一時的に大きな収益減があったものの、マーケティング事業は堅調に推移。再編コスト等を除く調整後EBITDAは1.5億円の黒字

（単位：百万円）	2019年12月期 上期（9－2月）（注1）	2020年12月期 上期（1－6月）	vs 前年同期比
売上高	5,019	4,222	▲7.9億円
売上総利益	2,419	2,043	▲3.7億円
% 売上高	*48.2%*	*48.4%*	
調整後EBITDA	359	149	▲2.1億円
% 売上高	（注2）	*3.5%*	
営業利益	▲40	▲414	▲3.7億円
% 売上高	（注2）	*-9.8%*	
親会社の所有者に帰属する当期純利益	▲716	▲531	+1.9億円
% 売上高	（注2）	*-12.6%*	

当会計期間における特殊要因：

- ✓ Upside株式売却益33百万円が営業利益にプラスの影響。2020年12月期第１四半期におけるUpsideの寄与は、売上高▲8百万円、営業利益▲50百万円、親会社の所有者に帰属する当期純利益▲53百万円
- ✓ 中華圏事業における提携先との契約早期終了に伴う費用を、その他の費用として▲185百万円計上
- ✓ 当社及び連結子会社の外貨建ての資産及び負債の換算において生じた為替差損を、金融費用として▲124百万円計上しており、親会社の所有者に帰属する当期純利益にマイナスの影響

（注１）2019年12月期は、決算期変更の移行期につき16ヶ月の変則決算のため対象期間が異なる
（注２）2019年12月期第１四半期に計上した子会社（pring）に対する支配の喪失に伴う株式評価益（1,759百万円）等を除く

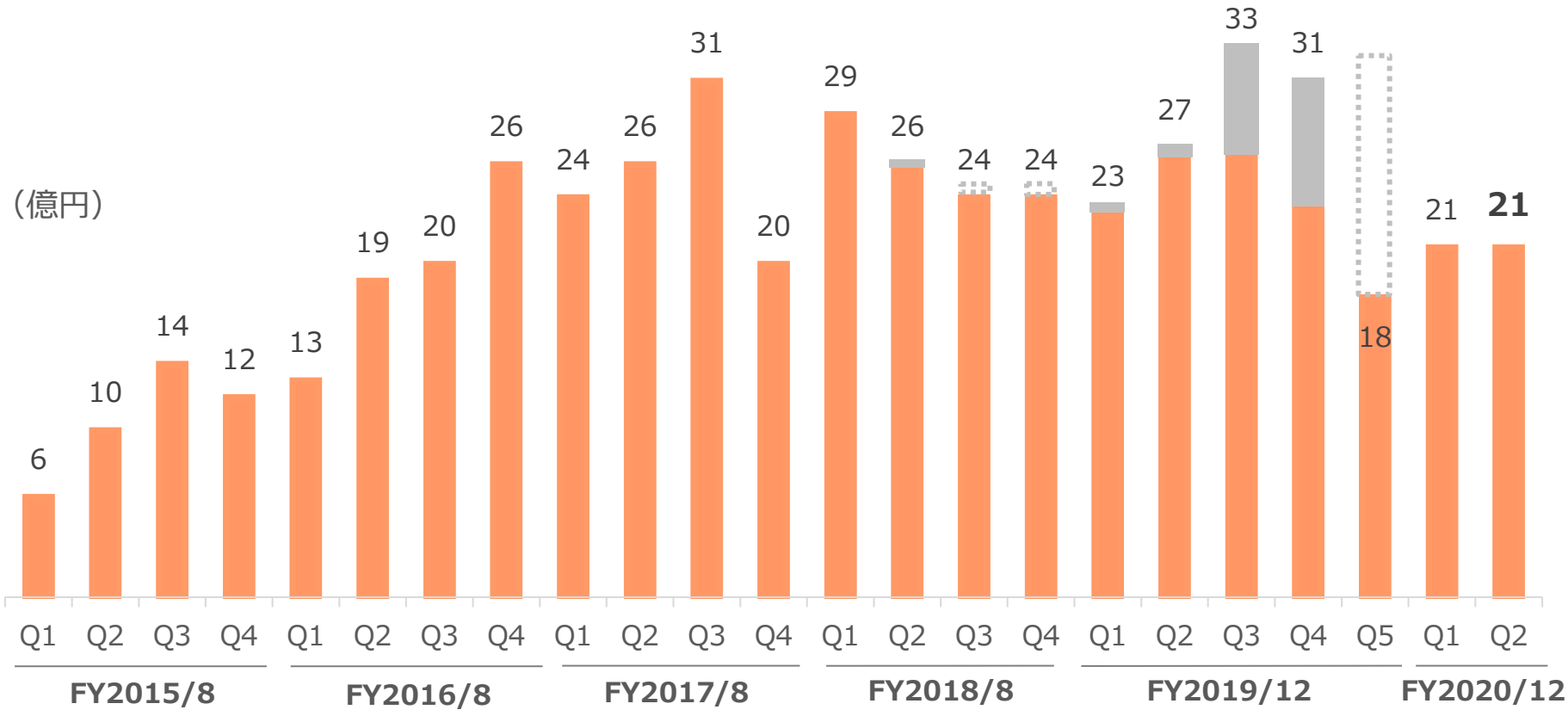
© 2020 Metaps Inc.

売上高推移

コロナ感染拡大による影響を最も受けた２Qの売上高は、前年同期比で減少したものの、コロナの影響が限定的だった１Qと同水準の売上高を維持

前期までの暗号通貨事業の収益貢献（億円）

2018年８月期			2019年12月期				
Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
0.7	△0.6	△1.6	0.2	3.1	7.7	8.7	△15.3



（注）2015年8月期第4四半期以前は日本基準、2016年8月期第1四半期以降はIFRS。2016年8月期第3四半期から2018年8月期第4四半期は、IFRS第15号適用を想定したプロフォーマ情報

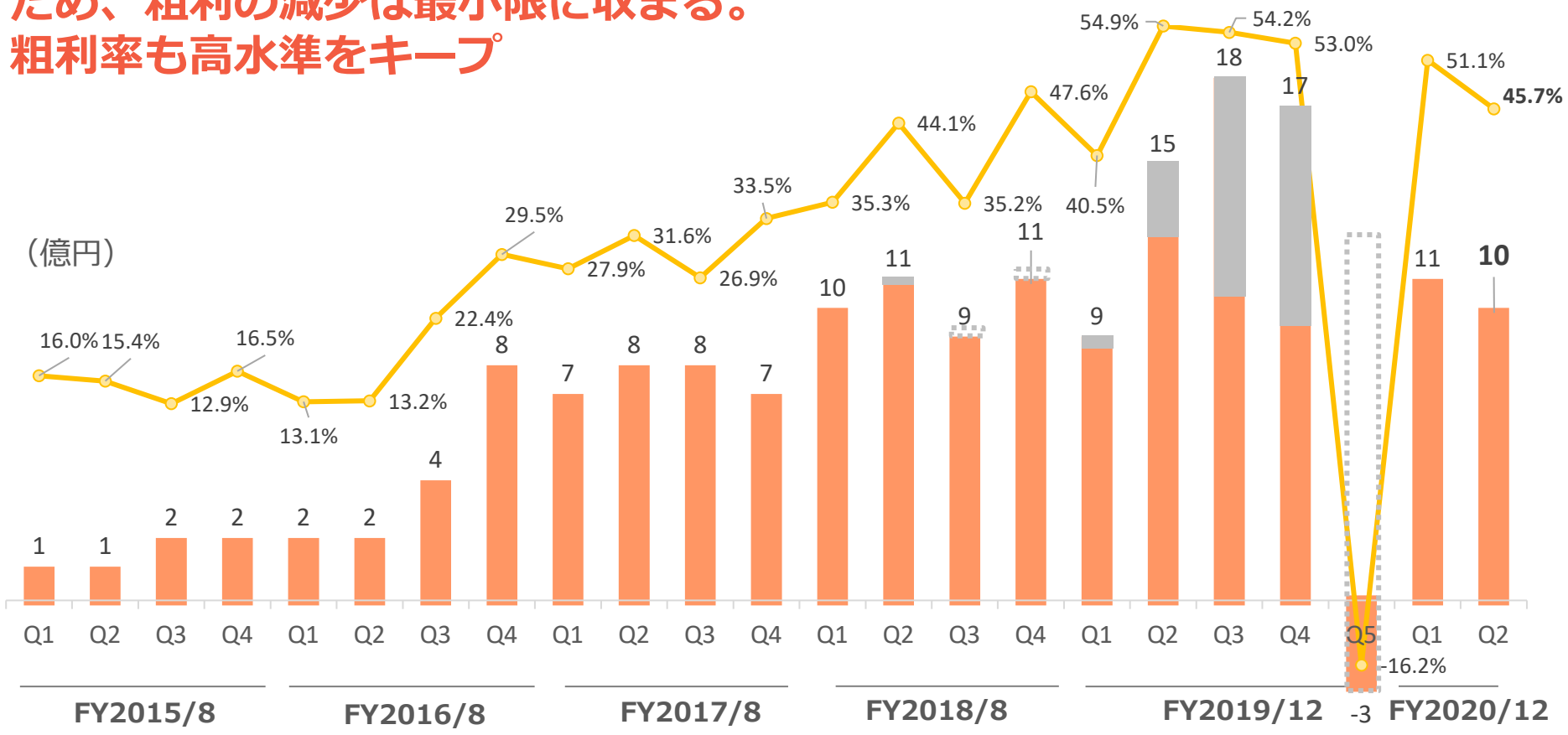
© 2020 Metaps Inc.

売上総利益推移

コア事業である国内ファイナンス事業で一時的に大きな収益減はあったものの、マーケティング事業が好調だったため、粗利の減少は最小限に収まる。粗利率も高水準をキープ

前期までの暗号通貨事業の収益貢献（億円）

2018年８月期			2019年12月期				
Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
0.7	△0.6	△1.6	0.2	3.1	7.7	8.7	△15.3

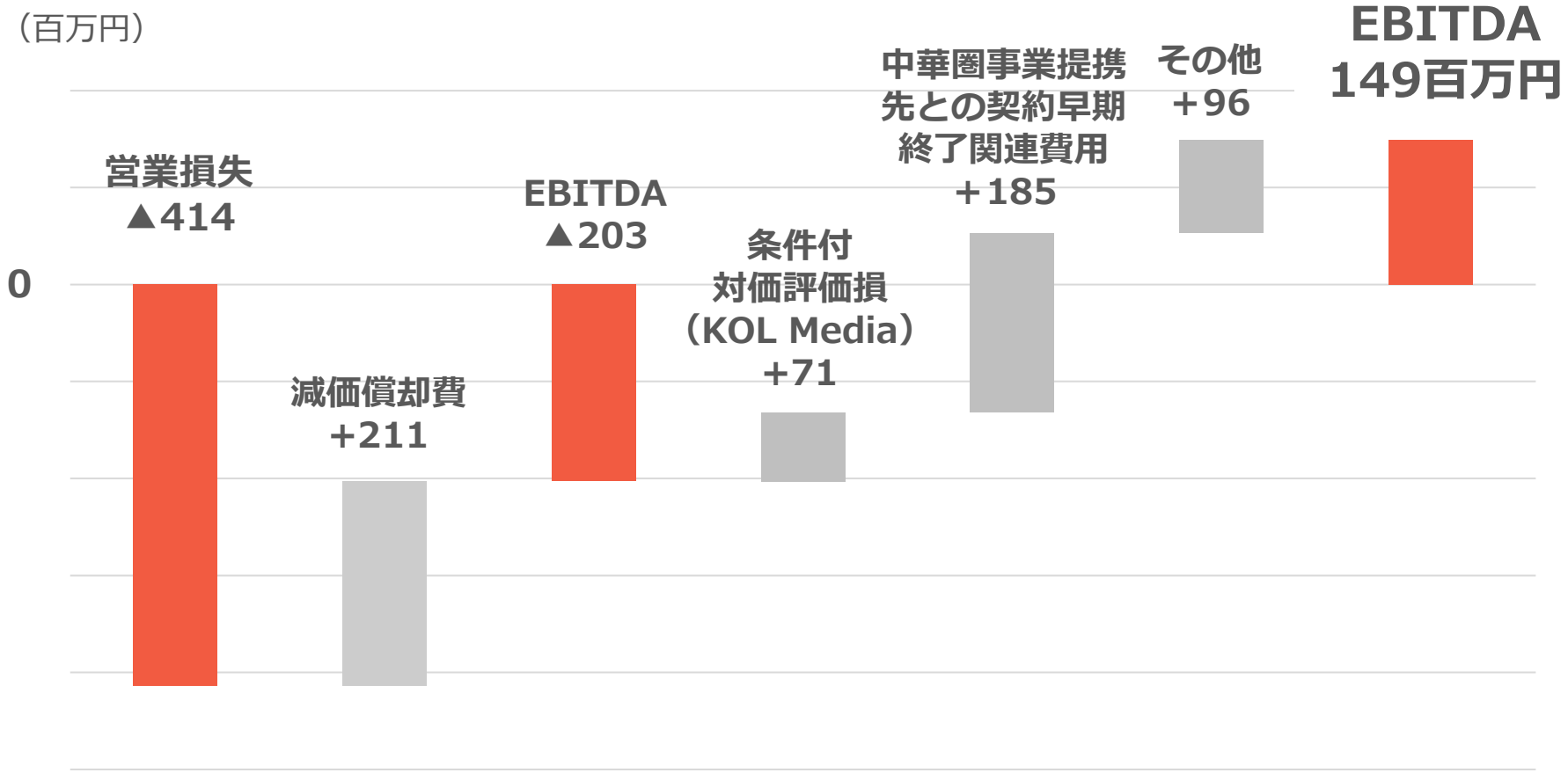


（注）2015年8月期第4四半期以前は日本基準、2016年8月期第1四半期以降はIFRS。2016年8月期第3四半期から2018年8月期第4四半期の粗利率は、IFRS第15号適用を想定したプロフォーマ売上高を基に算出

© 2020 Metaps Inc.

EBITDA及び調整後EBITDA

一時的な費用や非キャッシュ項目を除いた調整後EBITDAは1.5億円の黒字

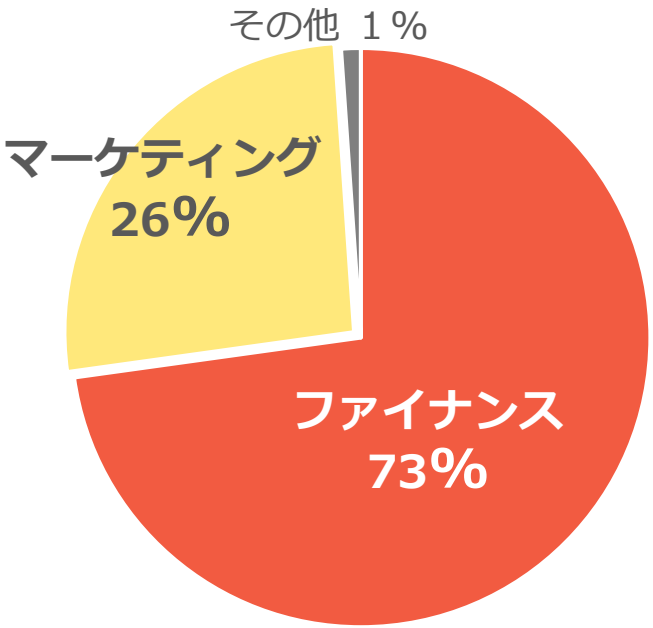


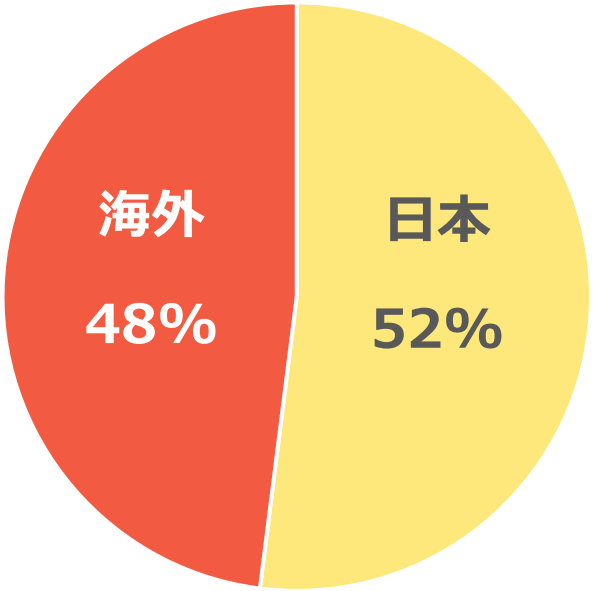
（注）営業活動には直接的に関係のない、一時的な要因を外した数値を示すことで、メタップスグループの継続的な業績を理解いただくことを目的とする。 従来のEBITDA（営業利益+減価償却費）に加え、IFRS関連費用、組織再編費用、M&A関連費用等を調整

© 2020 Metaps Inc.

事業及び地域セグメント

コロナ問題が顕在化するまで、ファイナンス事業は
過去最高水準で業績推移していたため、上期は
その貯金もあり、粗利は約７割をファイナンスが占める





売上総利益：20億円

© 2020 Metaps Inc.

２Qはコロナ感染症拡大の影響が大きく、国内ファイナンス事業を中心に一時的に大きく需要減も、6月以降回復基調に

（百万円）	2019年12月期２Q（９－２月）	2020年12月２Q（１－６月）	VS 前年同期比
売上高	2,262	1,793	▲469
売上総利益 %売上高	1,827 *80.8%*	1,481 *82.6%*	▲346
セグメント利益	310	9	▲301
EBITDA	428	64	▲364

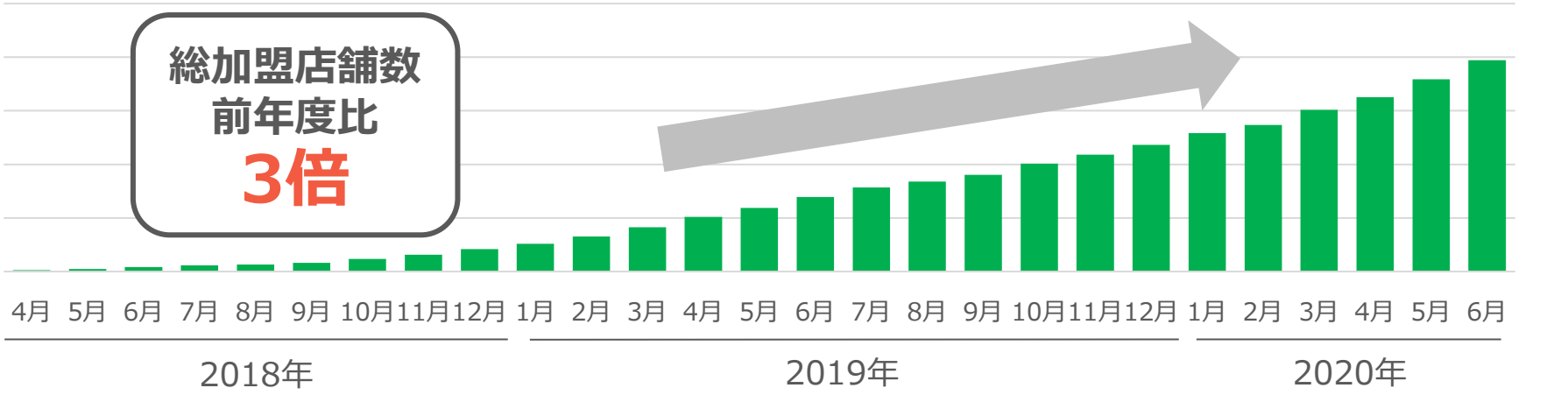
（注）2019年12月期は、決算期変更の移行期につき16ヶ月の変則決算のため対象期間が異なる

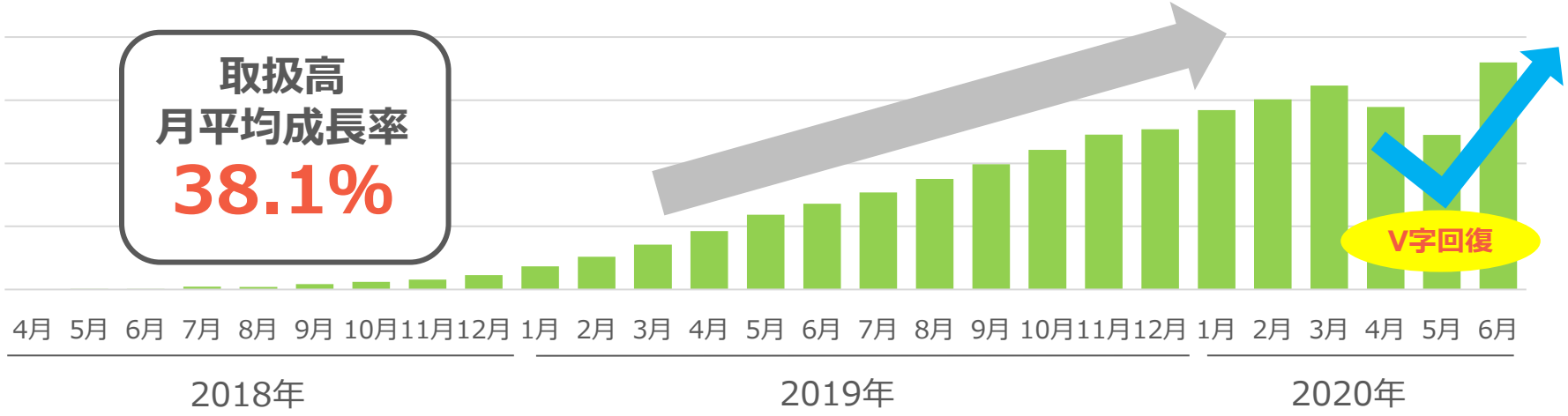
- ✓ ３月以降、国内ファイナンス事業において収益が漸減し、特に旅行・ホテル関連やイベント関連決済の取扱高が大幅に減少。しかしながら、**足元は５月を底とし６月以降回復傾向が鮮明で、１Q赤字だったセグメント利益は２Qで黒転。**（前期は、3.1億円の暗号通貨関連収益含む）
- ✓ 海外ファイナンス事業においては、１Qで計上した暗号通貨関連コストによる影響が大きく、加えて３月以降、法人顧客による販売促進予算が一時的に減少した影響もあったものの、**コロナ感染症の終息傾向が進むにつれ回復基調**

© 2020 Metaps Inc.

会費ペイ

成長著しい「会費ペイ」（サブスク決済）は開始から２周年。４月・５月はコロナの影響があったが、６月にはV字回復し、取扱高が過去最高





© 2020 Metaps Inc.

イベントの申込受付・決済システムを提供する「イベントペイ」は、2020年５月より**ビデオ会議サービス「Zoom」と連携**開始し、急速に利用件数増加

イベントペイ

利用料金
初期費用：0円
月額費用：0円
システム利用料：3.5%





© 2020 Metaps Inc.

プレイガイドに依存することなくチケット販売が出来るチケット販売管理・発券サービス「チケットペイ」。イベントペイ同様にZoom連携を開始し、オンライン配信ライブでの導入加速

チケットペイ

チケットペイは、簡単にチケットの販売が出来るサービスです。手数料は売れた分だけ、低コストなのに抽選販売・座席自動割り振りなど機能充実、申込者情報も全て主催者様が取得できます。個人主催のイベントからスタジアムクラスまで、音楽・スポーツ・トークライブなど規模に関係なくオールジャンルでご利用いただけます。また、オンラインイベントの受付からチケット販売、配信中の投げ銭募集など、幅広い使い方が可能です。
※販売時に、発券あり・なしが選べますので、リアル・オンラインのどちらのイベントにも対応できます。
※発券が必要な場合、全国(約16,600店舗)のファミリーマートで発券できます。





		チケットペイ	他プレイガイド
加盟店様手数料	取引契約料(初回のみ)	0円	10,000円
	販売システム利用料(1興業につき)	0円	5,000円～10,000円
	販売手数料（税別）	5.5%	8%～12%
	紙代負担	無し	有り
チケットに画像印刷	活用例)ファンクラブ限定チケット、特典引換え券	○	×
申込情報提供	管理画面で閲覧、ダウンロード可	○	×
メール配信	申込者へ自由にメール配信 ※1	○	×
支払サイクル	イベント実施に関係なく売上をお振込み ※2	毎月月末締め翌月15日	イベント終了後清算

© 2020 Metaps Inc.

他社との事業提携サービス

メタップスペイメントは、顔認証等の生体認証による入退管理、監視カメラシステム等のソリューションを提供する株式会社セキュアと提携し、未来型店舗「SECURE AI STORE LAB（セキュアエーアイストアラボ）」において、顔認証決済サービスの提供開始





顔認証決済の方法

登録サイトで顔の画像とクレジットカード情報を事前登録しておくことで、店舗で手に取った商品と顔の画像を自動認識し、精算時に手ぶらでのお買い物が可能

© 2020 Metaps Inc.

コロナ禍の中でも海外事業は逸早く回復し、国内事業の需要は大きく増加。結果、前年同期比約４割増の利益を達成

（百万円）	2019年12月期２Q（９－２月）	2020年12月２Q（１－６月）	VS 前年同期比
売上高	2,639	2,397	▲242
売上総利益 %売上高	528 *20.0%*	532 *22.2%*	+4
セグメント利益	106	176	+70
EBITDA	139	190	+51

（注）2019年12月期は、決算期変更の移行期につき16ヶ月の変則決算のため対象期間が異なる

- ✓ ４月まではコロナ感染症による影響で、顧客需要は若干の影響があったものの、ゲームパブリッシングを筆頭に急速に需要が回復。コスト削減も奏功し、計画以上の利益を確保

metaps ENTERTAINMENT

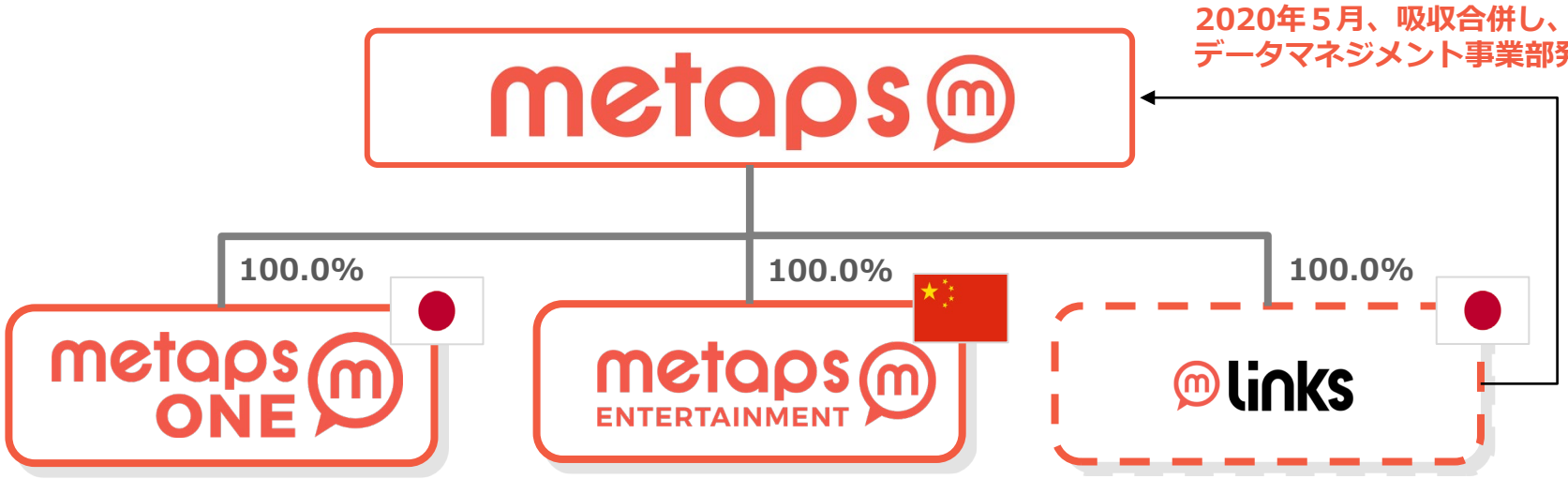
- ✓ コロナ禍の外出自粛の中、インターネット関連サービス利用が増加。堅調なデータフィード事業とECを中心に顧客の広告出稿が拡大したことが大きく寄与し、想定以上の収益を達成

metaps ONE

© 2020 Metaps Inc.

主なマーケティング関連子会社

ポートフォリオ見直しの一環で、メタップスリンクスを吸収合併完了。メタップス本体でのDX支援事業始動



- ✓ インターネット広告事業
- ✓ データフィード事業
- ✓ マーケティングソリューション事業
- ✓ 商品検索＆アプリメディア事業

- ✓ 越境マーケティング事業（オンライン＆オフライン）
- ✓ 越境ゲームパブリッシングサポート事業
- ✓ ゲームプラットフォーム事業

- ✓ アプリ分析事業
- ✓ アプリコンサル事業

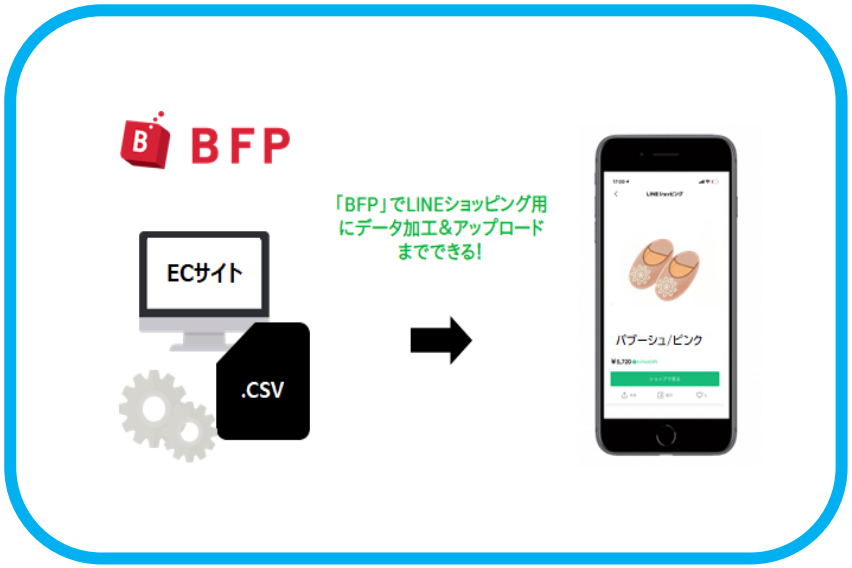
© 2020 Metaps Inc.

LINEショッピングと連携を開始

2020年6月16日、メタップスワンが提供するデータフィードサービス「BFP」が、「LINEショッピング」のデータフィード連携を開始

- ✓ 「BFP」は広告で使用されるデータフィードの作成および管理を行うサービス
- ✓ 今回商品などのアイテムデータをLINEショッピング独自のデータフィード仕様に変換し提供することに合意
- ✓ 直接連携により、セールでの訴求や自社ポイントの表示が出来る様になり、商品情報が増えることで検索結果やレコメンドの精度が高くなることが期待される

metaps ONE × LINEショッピング



© 2020 Metaps Inc.

■中期経営計画「The Road To 2025」を策定

※詳細につきまして、本日発表いたしました中期経営計画
「The Road To 2025」～自律分散社会に向けて～をご参照ください。

© 2020 Metaps Inc.

自律分散社会に向けて、経営理念の刷新と
新たな経営方針を盛り込んだ **中期経営計画**
「The Road To 2025」を策定

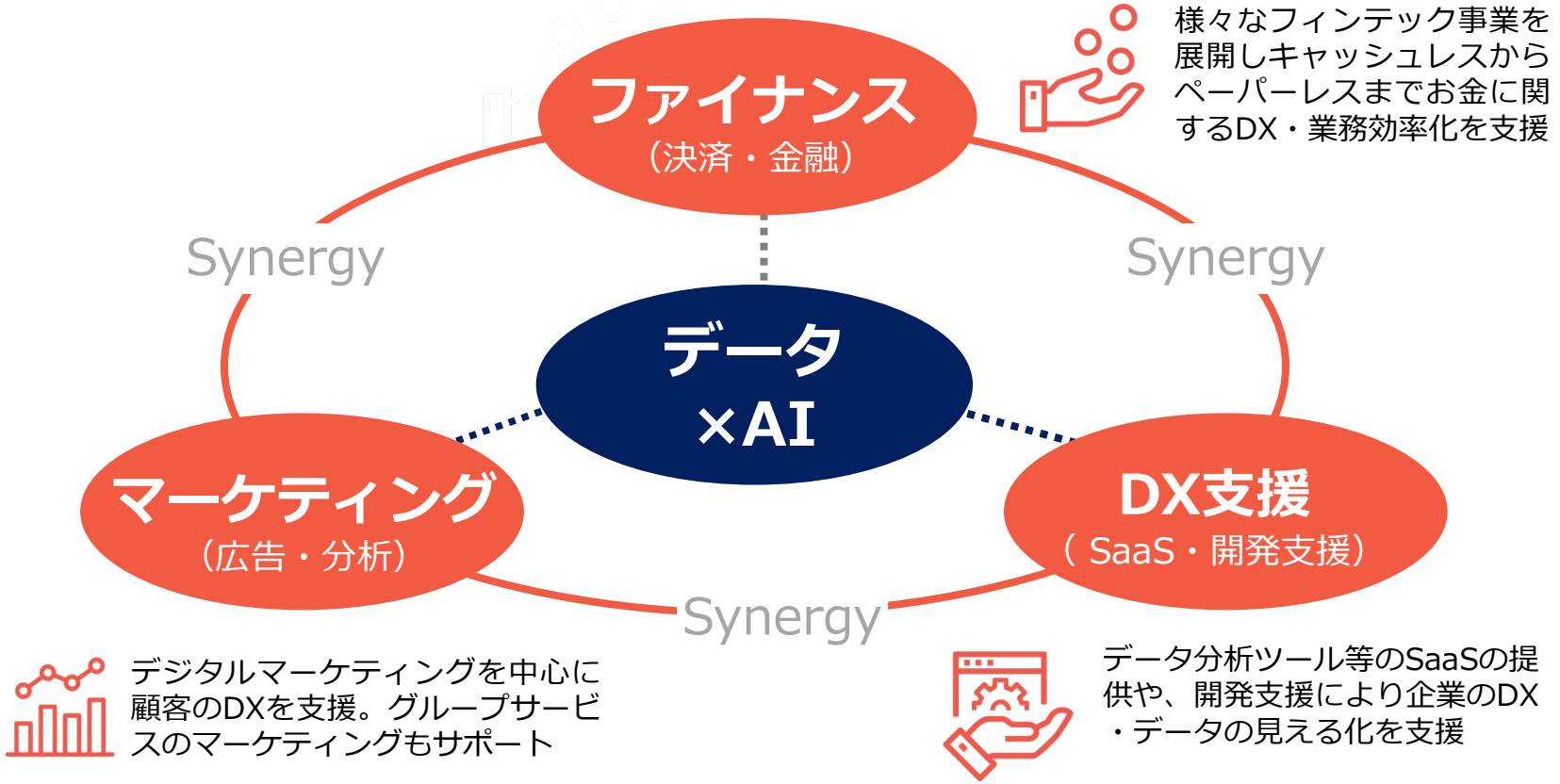
中期経営計画３つのポイント

- ✓ 重点投資：**決済を中心とするフィンテック領域への投資**
- ✓ 成長戦略：**SaaSを中心とするDX支援事業への投資**
- ✓ 数値目標：**営業利益30～50億円達成**

© 2020 Metaps Inc.

グループ戦略

グループの事業資産を活用し、**社会と企業のデジタル化を支援。**全ての経済活動を可視化し、事業を通して得られる様々なデータの利活用を提案



© 2020 Metaps Inc.

中期経営計画：数値目標

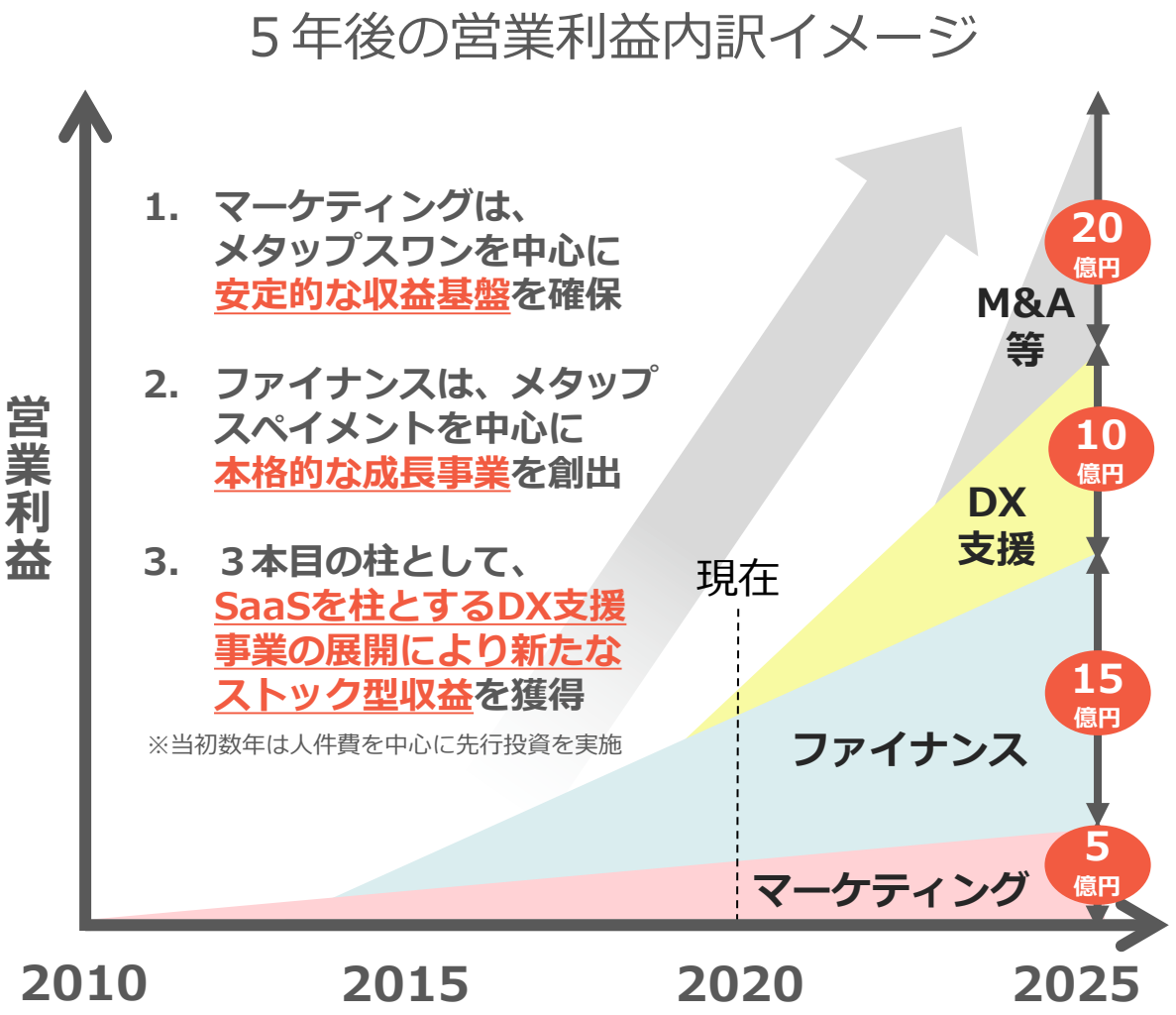
2025年目標数値

2025年に向けての営業利益数値をグループメンバー全員の共通目標とする

オーガニック目標
営業利益
30億円

チャレンジ目標
営業利益
50億円

オーガニック目標とチャレンジ目標の差額20億円は、M&A及び将来的に立ち上げる新規事業から創出



※当数値目標は、各事業が期待通り成長する前提で作成。当社は新規性の高い事業を展開しており、特にDX支援事業は不確定要素が多く、市場環境等に影響されるため、計画が当初想定から修正される可能性有り

© 2020 Metaps Inc.

自律分散社会に向けた“組織”の考え方

New Normal時代の新しい働き方を実現する オフィス移転プロジェクトを今秋より始動

生産性向上

- **リモート勤務**
  個人の特性、価値観、家庭事情等により柔軟な対応
- **スモールオフィス、サテライトオフィス**
  オフィスはリアルコミュニケーション醸成の場と位置付け
- **フレックスタイム、時短勤務**
  コアタイムの在り方を再定義
- **多様な採用形態 副業承認**
  正社員、契約社員、パートタイム、業務委託の垣根を低く
- **ジョブ型及び成果重視の評価**
  タスク(職務)の目標達成度をベースとした報酬
- **業務のDX化とコア業務以外の外注化**
  効率性追求、情報の透明性、属人化防止、事業開発にも貢献
- **完全ペーパーレス**
  電子サイン、契約書・各種証明書・証票等のデジタル化、クラウド化

© 2020 Metaps Inc.

SDGsへの取り組み



SDGs（持続可能な開発目標）は、国連加盟国と多様な組織、人々によってつくられ、国連で2015年に採択されました。17のゴール・169のターゲットから構成されており、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。この目標達成に向けて、各国が積極的に取り組むことが約束されました。

【メタップスSDGs宣言】

メタップスは、人々の価値観が大きく変化し、「豊かさ」や「生き方」の概念も多様化する時代を捉え、テクノロジーをフル活用することで、働き方をはじめ、人々を現実世界における様々な制約から解放し、自然と共生しながら、新しい価値創造と多様な幸せを追求できる社会の持続的発展を支援いたします。

メタップスグループは、「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に貢献してまいります。

© 2020 Metaps Inc.

まとめ

- ✓ 前期から進めている事業ポートフォリオの整理を継続（マーケティング事業における投資最適化）
- ✓ ２Ｑでコロナによる影響は底を打ち、コア事業であるファイナンス事業を中心に下期で収益挽回
- ✓ 経営理念の刷新と新たな経営方針を盛り込んだ中期経営計画「The Road To 2025」を策定。ストック型ビジネスの強化と安定成長に注力

コロナ禍と向き合いながら、中計経営計画の達成に向けて組織体制の再強化を進める

© 2020 Metaps Inc.

ご参考

© 2020 Metaps Inc.

経営理念

自律分散社会に向けて、経営理念を刷新。テクノロジーによって、働き方をはじめ、人々を様々な制約から解放。自然と共生しながら新しい価値創造と多様な幸せを追求できる社会をつくる

MISSION
存在意義

テクノロジーでお金と経済のあり方を変える

テクノロジーを駆使して、世界中に埋もれている価値を有効活用することで、経済やお金の在り方を変える

VISION
目指す姿

世界を解き放つ　「Unleash The World」

世界中の誰もが様々な制約から解放され、自由に価値創造でき、多様な生活を追求できる社会を作る

VALUE
価値観

Metaps People Quality (MPQ)

完遂力：	思考力：	スピード：	変革力：	組織力：
やり遂げる力	考え抜く力	素早く実行する力	変わり続ける力	共創する力

STRATEGY
経営戦略

ファイナンス	マーケティング	DX支援
決済、送金、融資等	広告、分析、コンサル等	SaaS、ブロックチェーン等

© 2020 Metaps Inc.

pring：決済サービス

コロナ禍でお金SNS（投げ銭）の利用者が急増。**Jリーグを始めとする多くのプロスポーツチームで利用が加速**

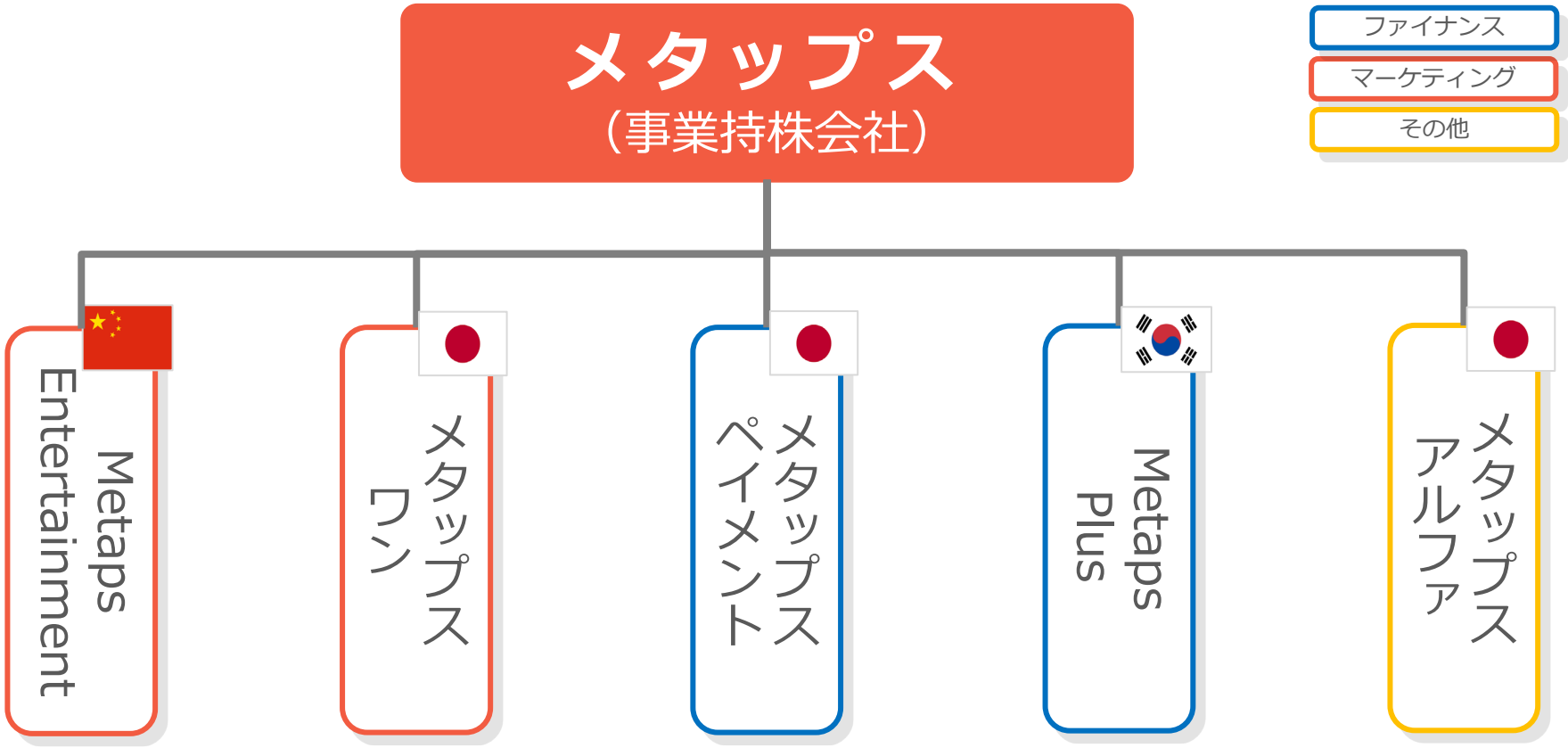
pring（プリン）は、成長著しいキャッシュレス市場において、独自路線で事業を拡大。お金のやりとりで、人と人をつなげる、新しい**お金コミュニケーションアプリ**

法人事業	• 法人から個人へ一括送金 • アプリ内の広告販売 • 送金：100円/件
お金SNS事業	• インフルエンサーやスポーツチームなどが、選手への応援を受けとれるプラットフォーム • 送金額の10%
決済事業	• QRコードによる店舗及びネット決済 • 他電子マネーへのチャージ • 決済手数料：1%
ASP事業	• アプリをOEMとして提供 • xxペイ、着せかえpringとして提供 • 1案件あたり数百万～数億円

（掲載企業は株主の一部）

© 2020 Metaps Inc.

グループ組織図①



- ✓ 越境マーケティング事業（オンライン＆オフライン）
- ✓ 越境ゲームパブリッシングサポート事業

- ✓ インターネット広告事業
- ✓ データフィード事業
- ✓ マーケティングソリューション事業
- ✓ 商品検索＆アプリメディア事業

- ✓ 決済サービス（EC・リアル決済）
- ✓ パッケージ・ソリューション（会費ペイ・イベントペイ等）
- ✓ 信用ビジネス（給与即時払いサービスCRIA/クリア）

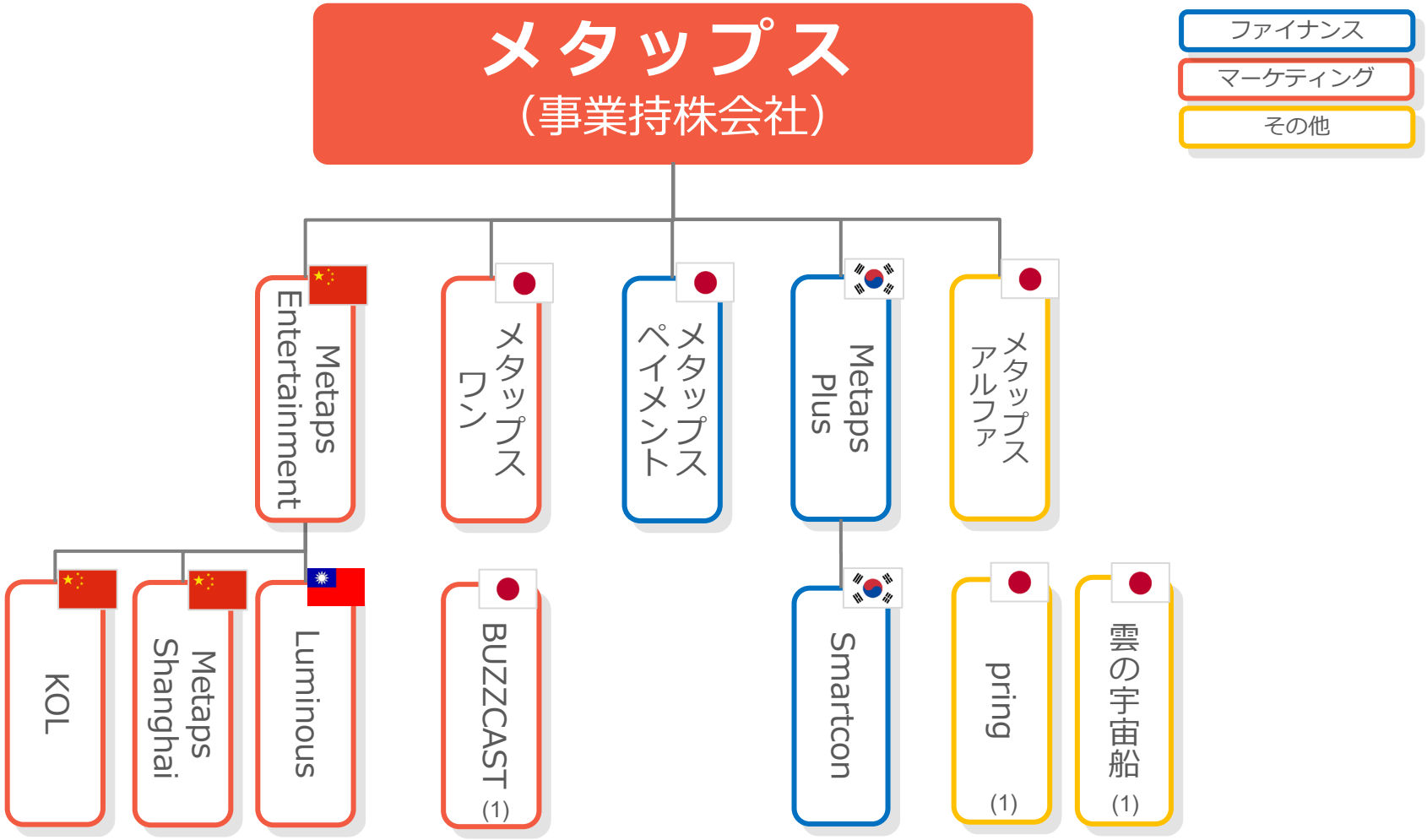
- ✓ 電子マネー＆モバイル商品券事業（EC・リアル決済）
- ✓ アプリマーケティング事業

- ✓ ブロックチェーン事業（マーケットプレイス＆ブロックチェーンゲーム導入コンサル等）

※孫会社及び持分法適用会社は次ページ

© 2020 Metaps Inc.

グループ組織図②



(1) 持分法適用会社

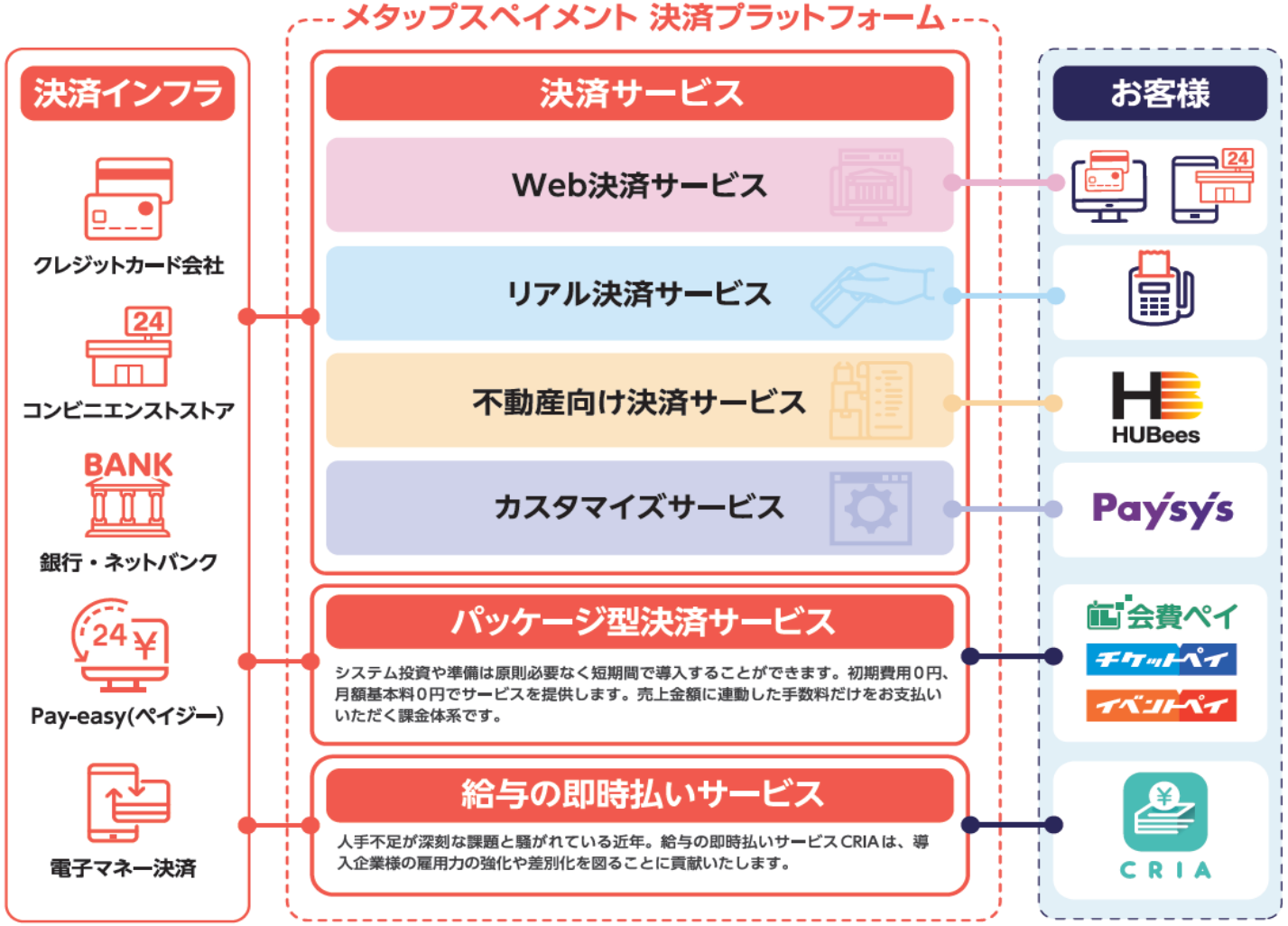
© 2020 Metaps Inc.

ファイナンス事業：決済サービス

20年の豊富な実績と、目まぐるしく変わるテクノロジー業界で
培った決済サービスのノウハウを顧客ニーズに合わせて提供

メタップスペイメントは、EC決済のみならず実店舗でのリアル決済を提供し、決済ラインナップはクレジットカードのほか、コンビニ、電子マネー、ペイジー、QRなど多彩な決済サービスを取り揃える

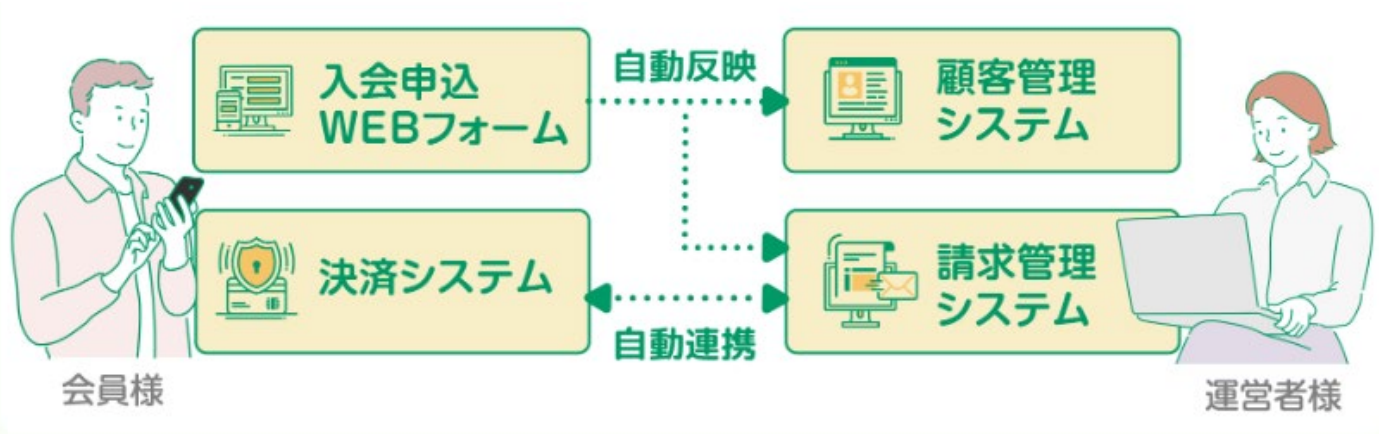
また、強みである開発力を活かした**パッケージ・ソリューション及び信用ビジネス領域への投資を積極的に進め、様々なフィンテック事業を展開**：詳細次頁以降



© 2020 Metaps Inc.

ファイナンス事業：会費ペイ（サブスク型決済）

「会費ペイ」は、①入会申込、②支払方法の登録、③会員管理DB登録、④毎月の集金、⑤催促自動化を実現。フィットネス・習い事・スクールなど会費制ビジネス（サブスク）に必要な機能をワンシステムで提供





会費ペイ

利用料金

- ■初期費用：　0円
- ■月額費用：　0円
- ■システム利用料１：3.5%
- ■システム利用料２：100円

・システム利用料１は、決済手数料込みの料金。別途決済手数料は発生しない
・システム利用料１は、決済金額からシステム利用料２を控除した金額に乗ずる
・システム利用料２は、決済が成功した請求1件につきかかる手数料

© 2020 Metaps Inc.

「CRIA（クリア）」はコロナの影響を乗り越え、大手加盟店の獲得など、事業拡大に向けて加速

背景

- ✓ 海外では米国の「ペイロールカード」等、新たな給与支払い手段が拡大
- ✓ 2018年12月、政府が「電子マネーによる給与支払い」解禁の方針を発表。2019年12月、国家戦略特別区域諮問会議において、**デジタルマネーによる給与支払いが規制改革事項として決定**
- ✓ 国内では人口減少もあり、企業の採用難易度が年々上昇し、人材不足が経営課題

CRIA（クリア）の特徴

- ✓ 従業員がいつでも給与を受け取ることができ、働いた対価の流動性を確保することで安心感が生まれる
- ✓ **CRIA導入により、企業の求人応募数が増加し、定着率も向上**
- ✓ 企業の導入手数料は無料、利用者が手数料負担（業界最安値）
- ✓ **原則24時間365日受け取り可能、セブン銀行ATMでの現金受取サービス**

CRIA



セブン銀行ATM受取　セブン銀行の口座が無くても利用が可能

© 2020 Metaps Inc.

MISSION

テクノロジーでお金と
経済の在り方を変える

metaps

VISION

世界を解き放つ

© 2020 Metaps Inc.

免責事項

本資料の取り扱いについて

この資料は、株式会社メタップス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。本資料は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

© 2020 Metaps Inc.